

25番		長江 秀幸 議員	
項目	令和6年度予算大綱説明と市政運営の基本方針について	項目	
<p>(要旨)</p> <p>1 本市の経済動向と予算編成について</p> <p>(1) 国、県の経済動向をどのように把握しているのか伺う。</p> <p>(2) 本市の経済動向をどのように分析し、予算に反映したのか伺う。</p> <p>(3) 一般会計は、約458億円の予算規模で、前年度比で44億円、率にして約10.7%の増加となっており、過去最高額を更新した。「住む・働く・学ぶ・育む」といった暮らしの4要素をしっかりと整え、充実させていく編成とのことだが、総合計画の歩みを加速させるための十分な予算編成となっているのか伺う。</p> <p>(4) 一般会計の歳入予算では、基幹となる市税は、約187億円を計上しており前年度比で約6億円の減少、国、県から交付される交付金や交付税は、合計で約93億円を計上、約14億円の増加を見込んでいるが、企業活動、経済状況、また、昨今の物価高騰などの影響も加味しての確信ある予算となっているのか伺う。</p> <p>(5) 各事業の財源として、市債を臨時財政対策債を含め約27億円借り入れるとともに、公共施設等整備基金を約10億円取り崩して、公共施設等総合管理計画に基づく施設整備に活用するとしているが、財源の確保については適正と考えているのか伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>2 第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現について</p> <p>(1) 総合計画策定から7年が経過し8年目を迎える。伊藤前市長は、昨年の予算大綱説明で「その成果が求められる時期に入ったと認識している」と述べられている。川本市長は、「市長としての任期と第6次瀬戸市総合計画の残りの計画期間が重なっております」と述べてみえるが、8年目をどのような時期と捉え、将来像実現に向けて取り組むのか伺う。</p> <p>(2) 主に子育て世代の転入により、平成29年度以降人口の社会増が続いている。都市基盤整備による居住環境の魅力向上や小中一貫教育をはじめとする子どもたちの未来に向けての取組などが成果につながったとしているが、瀬戸に住みたい、住み続けたいと思っていただける方策について伺う。</p> <p>(3) SDGsの推進については、中期事業計画において職員の意識を高めるとともに、市民、事業者の取り組みを推進、後押しをする方針を示されたが、現状と今後の取組について伺う。</p> <p>(4) 愛・地球博で培ったおもてなしの精神を受け、地域における挨拶運動や環境美化が広がるのが本市への来訪者を気持ちよくお迎えするために大切だとの見解を、昨年の代表質問の答弁でいただいたが、取組の現状と課題、今後の方策について伺う。</p>	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>3 都市像①「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」について</p> <p>(1) 「地域産業の振興と人材の活躍推進」について</p> <p>① 令和2年度及び令和3年度に立地促進奨励金の指定申請を受けた事業者が15社、再投資促進補助金を活用した事業者が1社あり、これらの企業が速やかに操業できるよう、許認可手続等のサポートを行っている。その後の実績と今後の取組について伺う。</p> <p>② 新たな企業誘致については、立地検討調査により候補地の検討を進めるとともに、ソフトウェアやロボット等、将来の成長が期待される産業や、若い世代が本市で働きたいと思える企業の誘致を目指してきた。令和6年度において、IT・スタートアップ企業等に対する助成、マッチングリストに登録のある市内企業に就職し、市内へ定住・移住した若者に対する助成を新たに行っていくが、現状の誘致活動の成果と今後の取組について具体的に伺う。</p> <p>③ 市内企業のデジタル化については、産業支援センターのコーディネーターによるSNS活用支援やテレワーク導入補助金の活用など支援をしてきたが、実績と企業の反応、今後の取組について伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>④ 農業振興に関して、需要の拡大については、農業体験や地元農産物のPR等を、供給の維持・拡大には、農業塾の開催や地元産米の買上げ補助等を行っている。中でも、需要拡大双方に資する学校給食への地元農産物の提供とせとのもの認証制度の実績は年々増加をしてきているとのことである。農業の後継者不足という大きな課題がある中、農業振興に向けて今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(2) 「年齢や性別にかかわらず、働くことや起業・創業に挑戦できるまちづくり」について</p> <p>① せと・しごと塾については、これまでも多くの方が創業されている。卒塾生からは、卒業後の経営相談と支援が充実しているとの評価があり、今後も引き続き商工会議所や金融機関と連携して、起業・創業に向けたサポートを行っていくと思うが、運営支援の中で、新たな支援・取組等は何か考えているのか伺う。</p> <p>② ツクリテの自主的な活動については、瀬戸焼産地を体感できるイベントの開催や県内外における展示会への出展など、販路開拓に向けた活動が行われている。引き続き支援に取り組んでいかれると思うが、今後に向けてのツクリテの要望と課題はどのようなか伺う。</p>	

25 番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(3)「地域経済の活性化につながる地域資源を活かしたシティプロモーションの展開」について</p> <p>① 「地域資源を活かしたシティプロモーションの展開」については、せと・まるっとミュージアム観光推進アクションプランに基づき、本市の歴史や文化、自然などの地域資源を内外に広くPRするとともに、旅行会社等への働きかけを積極的に行っている。また、愛知県と連携しジブリパークを活用した誘客や周遊観光を促進することで、地域経済の活性化につなげる取り組みを行っているが、その効果と実績、また、今後の取組について伺う。</p> <p>② SNSを活用したシティプロモーションについては、せとファンを増やす取組としてInstagramを活用したフォトコンテストなど、多くの参加者を集め実施された。市公式ホームページも全面リニューアルし、本市の魅力や情報をさらに分かりやすく伝え、新たなシティプロモーション動画も作成し、プロモーションを展開しているが、取組の成果についてはどのように分析しているのか、また、今後のさらなる積極的な展開が望まれるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p>	(要旨)	<p>③ ふるさと納税の推進については、返礼品協力事業者と返礼品の充実を図るとともに、本市への来訪につながる特色のあるものづくり体験や宿泊、バーチャル瀬戸を活かした返礼品などラインナップの拡充を進め、より多くの方から応援いただけるよう取組を進めているが、さらなる積極的な展開が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>④ プレミアム商品券などのクーポン事業は、経済活動の活性化及び消費拡大を促進し、現在の物価高騰対策にもつながり、有効な事業と考える。本市は、地場産業である瀬戸焼の消費拡大を目的としたクーポン事業に取り組んできているが、さらに使い勝手の良いクーポン事業については、どのような見解か伺う。</p> <p>(4)「市民生活の利便性を高め、企業活動の活性化につながる都市基盤の整備」について</p> <p>① 陣屋線において、陶栄橋の架け替え工事に着手するとともに、十三橋線において、歩行者の安全を確保するための道路設計を行っていき、着実に整備されてきている感はある。一方、幡中南菱野線において、交差点の改良工事も完了したが、新瀬戸市デジタルリサーチパーク構想地区への南進方向の整備の進捗状況について伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>② 行政手続のオンライン化については、子育て関係、介護関係において多くの手続がマイナポータルからオンライン申請可能となった。また、県の共同利用型電子申請システムを活用して各種給付金等、オンライン申請可能な手続を順次拡大していくとのことであったが、その進捗状況と今後の取組について伺う。</p> <p>③ バーチャル瀬戸については、CG、コンピューターグラフィックス、CGキッズの発表の場として活用するとともに、民間企業や各種団体、行政などからなる共同事業体を設立して、民間活力を最大限生かしつつ、本市のものづくり文化を広く発信していくことで、商業、観光振興など、活性化を図っていくとしていたが、現状と今後の取組について伺う。</p> <p>④ 瀬戸市ICT戦略プランに基づき、施策・事業に取り組んでいるが、現在までの評価はどのようなか、また、基本目標に対し着実に推進しているのか伺う。</p> <p>4 都市像②「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」について</p> <p>(1)「ライフステージに応じた切れ目のない子ども・子育ての支援」について</p>	(要旨)	<p>① 安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを推進するため、子ども医療費の無償化に係る対象年齢を18歳まで拡大される。昨年6月定例会の代表質問においても、通院医療費助成の拡大について質問させていただき、中期事業計画を策定する中で検討していくとの答弁であった。市長の選挙公約でもあったが、子育て支援に効果があり、総合計画を前に進める施策であると考え、どのような検討がなされ、また、具体的な影響、効果について伺う。</p> <p>② ヤングケアラーやひきこもり等の困難を有する子ども・若者については、時間をかけ親身に相談者に寄り添うことで信頼関係を築き、継続的な支援につながる事ができているとのことだが、現状と課題、今後の取組について伺う。</p> <p>③ 産後健康診査については、産後鬱の予防、新生児への虐待予防などを目的に回数を1回から2回に拡充し取り組んでいるが、健康診査の現状と評価について伺う。</p> <p>④ 休日保育については、祝日利用者がほぼ定員に達し、利用の多い園において定員を増やし対応しているが、対応しきれているのか現状と課題について伺う。</p> <p>⑤ 「瀬戸市子ども総合計画」の改訂業務に取り組まれるが、どのように進めていくのか具体的に伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(2)「瀬戸で学び、瀬戸で育ててよかったと思える教育の実現」について</p> <p>① 菱野団地において、3つの小学校の統合先となる八幡小学校の長寿命化改良工事に着手し、近接する光陵中学校とともに「施設分離型小中一貫校」として、令和8年度の開校を目指すとしているが、具体的な改修内容を伺う。また、地域に根ざした探究的な学習を行う本市独自の教科の新設に向けた準備を進めるとしているが、どのような教科を想定し、成果をあげようとしているのか伺う。</p> <p>② 子どもが安心して主体的に過ごすことができ、将来の自立につながる力を身につけるための居場所として、「せと“ここ”ほっとルーム」を全中学校に設置されるが、これまでの現状・評価と中学校での具体的な取組について伺う。</p> <p>③ 多様な個性やニーズに対応した教育をするため、発達障害、不登校、経済的困窮や日本語指導など支援を必要とする子どもの多様なニーズに対応するため、教育と福祉の連携を強化し、スクールソーシャルワーカーの常勤化など体制の強化に取り組んでいるが、現状と課題について伺う。</p>	(要旨)	<p>(3)「多世代が子育てに関わることのできるまちづくり」について</p> <p>① 中学校ブロック毎にコミュニティ・スクールの設置を進められる。設置目的の共通認識を深めることが課題とのことであり、情報共有や研修会等の実施により、地域と学校が当事者として協働し、学校運営に取り組んでいくとのことであったが、課題は解決してきているのか伺う。また、ただ設置するだけでは環境の構築とは言えないが今後の取組について伺う。</p> <p>(4)「都市基盤整備による居住環境の魅力向上と未来に向けた良好な環境の継承」について</p> <p>① 子どもたちが安全・安心に通学できる歩道の整備を行うとともに、公園の安全性・快適性を向上するための施設の更新に取り組むとされているが、具体的な整備・更新内容について伺う。</p> <p>② 中水野駅地区区画整理については、居住や子育て支援、商業施設などの新たな都市機能の誘導を図り、水野地域の拠点として整備を進めるとされているが、地権者の理解、事業費の確保など課題があると認識する。今後の対応・取組について伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>5 都市像③「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」について</p> <p>(1)「誰もがいきいきと、健康に暮らすことができるまちづくり」について</p> <p>① 加齢などによる免疫低下により発症しやすくなる帯状疱疹を予防するため、ワクチン接種に対する助成を新たに行うが、本市における罹患者の状況と助成内容を具体的に伺う。</p> <p>② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業において、健康状態不明者の状況把握や糖尿病性腎症重症化予防などを進めるとともに、口腔機能、筋骨格、認知機能等のフレイル状態を自ら把握する機会を増やす取り組みをしているが、現状・効果はどのようなか、また、今後の取組について伺う。</p> <p>③ 健康診査、予防接種、各種健診については、事業周知の強化、電子申請の活用、個別通知の継続、実施機関の延長に加え、HPVワクチン接種においてはキャッチアップ接種の実施などに取り組んでこられたが、受診状況はどのようなか、また、受診しやすい環境整備は整っているのか伺う。</p> <p>(2)「高齢者が生きがいを持って活躍し、支え合いにより、安心して暮らせるまちづくり」について</p>	(要旨)	<p>① 高齢者のフレイル予防については、予防のための外出機会の創出を目的とし、道泉及び東明地区をモデル地区として検証してこられたが、その結果はどのようなか伺う。また、新たなモデル地区選定も視野に入れ実施方法を検討されたと思うが、どのような検討結果だったのか伺う。</p> <p>② 認知症の早期診断・早期対応を目的とする認知症初期集中支援チームや、認知症の方やその家族をサポートする認知症地域支援推進員を設置し認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう支援していくとのことである。大変重要な役割だと思うが、具体的な支援内容について伺う。</p> <p>(3)「誰もが自立し、地域で支え合いながら生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり」について</p> <p>① 障害者相談支援体制については、身近に安心して相談ができる「やすらぎ障がい者相談支援センター」と本庁舎内にある「瀬戸市障がい者相談支援センター」が連携し、必要に応じて障害者やそのご家族と関係機関をつなぐ伴走型支援を行っているが、現状の取組の評価と課題について伺う。</p> <p>② 菱野団地再生計画における取組については、多世代が交流できる空間づくりと伺うが、中央広場の改修内容はどのようなか、また、住民と大学などと共同で取り組まれたがどのように評価するのか伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(4) 「地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり」について</p> <p>① 新たに資源物の臨時拠点回収に取り組むが、具体的取組内容について伺うとともに、その効果をどのように期待し、また、見込んでいるのか伺う。</p> <p>② 防災に関する様々な情報の収集・伝達方法を構築し、広く市民に的確な避難情報の発令、伝達を行うため、着実に環境の整備に取り組んでいる感はある。一方、市民の防災意識についても関心を持っていただくよう、また、行動に移していただけるよう取り組んでいかなければならないと考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>③ 消防力の強化を図るため名古屋市等との消防指令業務共同運用に向け、指令管制システムの共同整備に取り組むとのことである。ここ2年で開発・整備を進めているが、既に運用実績等はあるのか、令和6年度は具体的にどこまでの整備を行っていくのか伺う。</p> <p>(5) 「誰もが生涯にわたって学び、郷土に対する誇りと愛着を深める豊かな地域づくり」について</p> <p>① 図書館利活用計画に基づき、「大人がゆっくり楽しめる、子どもと一緒に楽しめる」図書館を目指し、本館の長寿命化・改修工事に取り組むが、具体的にどのようにリニューアルするのか伺う。また、来館者が増加する改修になるのか伺う。</p>	(要旨)	<p>② 本市の近世、近現代に係る窯業史の全容を明らかにするため、最新の研究を反映した、瀬戸市史陶磁編の編さん業務を進めるが、最新の研究によりどのような新発見があったのか伺う。また、市史をどのように活用していくのか伺う。</p> <p>6 真に効果のある障害者施策の実施について</p> <p>(1) 市民の声を反映した施策について、その内容と期待する効果を伺う。</p> <p>7 水道事業・下水道事業について</p> <p>(1) 水道事業については、災害に強く、安全で安定した水道水の供給と有収率の向上を図るため、老朽管の布設替や管路更新事業に取り組む。下水道事業については、公共下水道計画に基づき、西部浄化センターにおける水処理施設整備事業と下水道管渠整備事業に取り組む。上下水道とも毎年度着実に事業を展開している感はあるが、同時に料金の問題等、経営面で様々な課題が生じてきている。課題解決に向け今後どのように検討を重ねていくのか伺う。</p>